

みずほCustomer Desk Report 2020/12/10 号(As of 2020/12/09)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	104.16
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.14	1.2109	126.09	1.3367	0.7409
SYD-NY High	104.41	1.2147	126.50	1.3476	0.7485
SYD-NY Low	104.05	1.2058	125.79	1.3354	0.7405
NY 5:00 PM	104.24	1.2082	125.90	1.3403	0.7442

NY DOW	30,068.81	▲ 105.07	日本2年債	-0.14	0.00bp
NASDAQ	12,338.95	▲ 243.82	日本10年債	0.01	0.00bp
S&P	3,672.82	▲ 29.43	米国2年債	0.150	0.00bp
日経平均	26,817.94	350.86	米国5年債	0.406	1.28bp
TOPIX	1,779.42	20.61	米国10年債	0.937	1.66bp
シゴ`日経先物	26,685.00	110.00	独10年債	-0.6070	0.70bp
ロンドンFT	6,564.29	5.47	英10年債	0.2600	0.35bp
DAX	13,340.26	61.77	豪10年債	1.0240	▲1.00bp
ハンセン指数	26,502.84	198.28	USDJPY 1M Vol	5.98	▲0.10%
上海総合	3,371.96	▲ 38.21	USDJPY 3M Vol	6.40	▲0.11%
NY金	1,838.50	▲ 36.40	USDJPY 6M Vol	6.69	▲0.01%
WTI	45.52	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	158.921	0.64	EURJPY 3M Vol	6.88	0.03%
ドルインデックス	91.09	0.12	EURJPY 6M Vol	7.06	0.05%

東京	東京時間のドル円は104.14レベルでオープン。特段目新しい材料がない中、動意薄の展開となった。日経平均が堅調推移となったが為替相場への影響は限定的で、狭いレンジでの値動きに終始。結局104.16レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は104.16レベルでオープン。英国にて新型コロナウイルスワクチン接種が開始された事を背景にリスクオン・ムード、買入が後退し一時104.25まで値を上げた。その後、ユー・ブ英内閣担当相がEUとの漁業権の妥協を示し、通商合意期待に上昇したポンドや豪ドルに押されドル円は104.05まで下落。104.13レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は104円台前半の狭いレンジで推移。本日もブレグジット関連のヘッドラインが交錯する中、対ポンドのドル売りが波及し、104.05まで下落する場面もあったが、104円割れには至らず。結局、104.13レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標が予定されておらず方向感に欠いたが、その後、欧州通貨や資源通貨に対するドル買いが波及し、一時104.41まで上昇。しかし、約9,160億ドル規模の米追加経済対策案を巡り、民主党幹部が一部内容を拒否していると伝わる中、米株がマインス圏に沈み、リスクオフの買いも強まっていることから、104.20近辺まで反落。終盤は新規の手がかり材料が見当たらず小動きとなり、104.24レベルでクローズ。一方、海外市場のユー・ドルは1.21円台前半でスタートし、米株先物がプラス圏で推移する中、リスクオフのドル売りが進み、一時1.2147まで上昇。しかし、ブレグジット協議の行方や明日のECB理事会発表が警戒される中、更なる上値押しは限定的で、その後はじりじりと反落。早朝に「復興基金含むEU予算案を巡り、ポーランドとハンガリー、ドイツが妥協」とのヘッドラインが流れるも、ユー・ドルは特段反応せず、そのまま1.2101をつけ、1.2109レベルでNYオープン。朝方は1.2124まで上昇するが、その後はリスクオフのドル買いが先行し、1.2100を割り込む。米株の下げ幅拡大を背景に下落するユー・円も重しとなり、一時1.2058まで下落。その後、1.2080近辺まで値を戻すも、イベント前で積極的な取引が手控えられ、結局、1.2082レベルでクローズ。本日はカナダ中銀やブラジル中銀が政策金利の据え置きを発表するも、市場の予想通りだったことからドル円やユー・ドルへの影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経路なしに変更される可能性があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することは禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

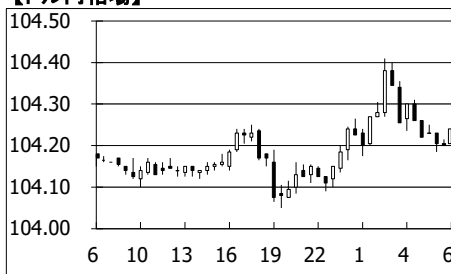
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月9日	10:30	中	PPI(前年比)	11月	-1.5%	-1.8%
	10:30	中	CPI(前年比)	11月	-0.5%	0.0%
12月10日	00:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	10月	1.1%	0.9%
	00:00	米	卸売売上高(前月比)	10月	1.8%	-

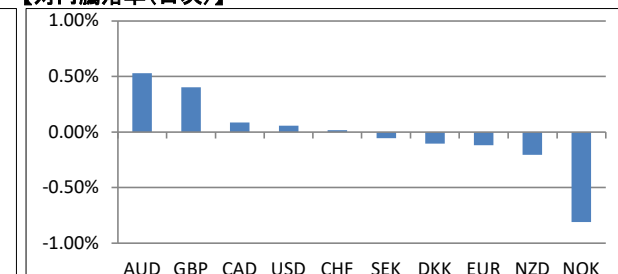
【本目の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月10日	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.3%/-6.4%	0.5%/-6.3%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.3%/-8.4%	0.2%/-7.9%
	21:45	欧 ECB主要政策金利	10-Dec 0.0%	0.0%
	21:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	10-Dec -0.5%	-0.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	5-Dec 725k	712k
	22:30	米 GDI(前月比/前年比)	11月 0.1%/1.1%	0%/1.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-104.50	1.1980-1.2150	125.40-126.40

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は104円台前半でのレンジ相場となった。東京時間は、特段目新しい材料がない中、104円台前半での小幅な値動きに終始、海外時間に入り、ブレイクット関連のヘッドラインが交錯する中、欧州通貨や資源国通貨に対するドル買いが波及し104.41円まで上昇。しかし、米追加経済対策案を巡り、民主党幹部が一部内容を拒否する内容の報道に、米株がマイナス圏に沈み、ドルも104円台前半まで反落。一巡後は、特段材料がないなか方向感なく推移し104円台前半でクロス。

本日のドル円はレンジ相場を予想。コロナウイルスワクチンに関する報道によりリスクセンチメントは改善しているが、景気下振れリスク、ブレイクット関連の欧州の先行き不透明感は依然燻っており上値は重いと考える。尚、本日はECB政策金利の発表や米消費者物価指数の発表を控えているため、積極的にポジションを傾ける動きにはなり辛い展開か。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上達野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		7	14